

図書館通信

静岡大学附属図書館報 No.167 2015.4

目次 ■巻頭言 ■浜松分館リニューアルオープン ■図書館ギャラリー企画展報告 ■「本が好きな子、集まれ！キッズチャレンジ静岡図書館」実施報告 ■図書館利用学生モニター活動報告 ■教員等著作寄贈図書一覧
■図書館の動き ■図書館開館日程

巻頭言

勉強の合間も『図書』



館長 澤田 均

新しくメンバーになられた新入生・大学院生の皆さん、ようこそ静岡大学へ。皆さんがこの冊子を手にするのは、4月上旬のガイダンスの頃だと思います。たくさんの資料を受け取り、くらくらしたことでしょう。とはいえ、最初の1週間で慣れるもの。その後、落ち着いたら、ぜひ早めに図書館を訪れてください。静岡キャンパスで学ぶ皆さんには、キャンパスの真ん中、気持ちの良い広場に面した図書館（Learning Park）が、浜松キャンパスで学ぶ皆さんには、Students' PORT 構想のもとに昨年10月リニューアルオープンしたばかりの浜松分館が待っています。浜松分館のコンセプトは「学生たちの＜港＞」、活気ある＜港＞のように新たな知識や人と出会い、大いに成長するようにと願って整備しました。グループ学習や協同作業ができるように、プレゼンルームやグル

ープワークエリア、大型プロジェクタを備えたセミナールーム・CALL 教室も設けてあります。文字どおり皆さん一人ひとりの＜母港＞となることでしょう。

在学生の皆さんも、引き続き図書館を大いに利用してください。上級生・大学院生は各研究室に貸出中の専門書や電子リソースを利用することが多いことでしょう。これらも含め、図書館を使いこなしてください。昨年、ノンフィクション作家高橋秀実さんの『ご先祖様はどちら様』という小林秀雄賞受賞作の文庫版が出ました。横浜市生まれの著者が図書館や役所を利用しながら、自分のルーツ探しの旅に出るという内容です。母方のルーツを探して静岡市清水区小島町も訪れます。旅の途中でさまざまな疑問を抱き、それらについて考え、やがて人と人の縁の広がりを実感していくことになります。著者のような「図書館の達人」になりたいものです。

さて、ここからは図書館を初めて利用する皆さんに向けて書きましょう。大事なものは、学生証です。静岡本館では4階入口のリーダーに学生証をタッチすれば入館できます。すぐ左手がカウンターで、図書館員（ライブラリアン）の方々が仕事をしています。分からないことや困ったことは、気軽に尋ねてください。4階にはPCワークエリアや参考図書エリア、国際交流エリアのほか、新聞コーナー、視聴覚ブースがあります。次に5階に上がってみましょう。そこは図書館の核心部。たくさんの開架図書と、見晴らしが良く（海が見える）快適な閲覧席があります。試験対応期とも

なれば、大勢の利用者で混雑します。5階の奥に進むと、ハーベストルームというラーニング・コモンズのスペース。グループで存分に議論し、協同作業することができます。さらに6階に上がると、セミナールームが3室用意されています。

皆さんが新入生セミナー（前学期に開講）の中で「図書館利用セミナー」を受講するのは、このセミナールームです。この授業で、図書館の利用方法をしっかり身に付けましょう。授業時間の制約等から現在はやむを得ず割愛していますが、かつては1階から3階にある書庫を見学してもらったこともあります。この書庫こそ、図書館の真の核心部だからです。静岡本館だけで約94万冊の図書を所蔵していますが、その多くがこの書庫に保管され、いずれ誰かと出会う日を待ち続けています。私もかつて1冊の本に出会ったことがあります。それは、ふと思いついたアイデアが妥当なものかどうか見当をつけようと、イネ科植物の花粉1個の大きさを調べた文献を探していたときのこと。なかなか見つからず諦めかけていたとき、幾瀬マサさんの『日本植物の花粉』という書名が目飛び込んできました。私の生まれた年に出版された本ですが、中を見ると、イネ科植物78種の花粉の大きさが載っているではありませんか。おかげで、アイデアに見込みのあることが分かりました。このように本と出会うものなのですね。

図書館では以上のように、皆さんの学習を支援するさまざまなしくみを整えています。ですから大いに利用し、在学中に知性・能力を高め、社会に巣立つよう、心より願っています。とはいえ、勉強だけでは味気ないもの。勉強の合間に一息ついて、リラックスすることも大切です。このように書くと、歴代の館長に怒られますが、新聞や雑誌の中のさまざまな小文も皆さんを待ち伏せています。そこで、ここからは、勉強の合間のちょっとした楽しみについて書きましょう。3階に下りてすぐの場所に新着雑誌コーナーがあります。

たとえば、『図書』という雑誌。これは岩波書店の月刊誌です。いま、作家の池澤夏樹さんの「詩のなぐさめ」を連載中で、古今東西の詩歌を織りまぜたエッセイを楽しめます。2015年1月号は「詩人の中のいちばんの悪党」でした。2013年11月までは、詩人の伊藤比呂美さんが連載しており、こちらは『木霊草霊』という本になりました。その中の「クズさん」、秋の七草の一つクズを題材にしたエッセイがおもしろい。クズはシロツメ

クサと同じくマメ科の多年草ですが、夏ともなれば、つるを伸ばしてダイナミックに成長します。静岡キャンパスでも野球場近くで怪しく蔓延しているのを見かけます。この「クズさん」を読むと、そんなクズに見立てて詠まれた万葉集の歌、いまと変わらぬ恋愛模様の一端を知ることができます。

息抜きの読書の良いところは、読んだそばから忘れること。とはいえ、長く記憶に残るものもあります。その一つが、大江健三郎さんの連載「親密な手紙」の中の「ノリウツギの花」（2011年8月号）。著者の生家は、和紙の原料（ミツマタ）を精製し、造幣局に納めていました。等外品は京都の製紙店に買ってもらい、お歳暮にノリウツギの糊を煮て（または乾かした樹皮を）送っていたそうです。和紙づくりで使うのですね。ノリウツギはアジサイに似た低木で林内に自生しますが、秋になると葉を落とし、どこに生えているか分からなくなります。そこで地図をこしらえ、株の位置に丸印を付けておくのが、著者の役目だったそうです。このくだりが、私の記憶に残っています。実はこの小文は、東日本大震災の光景を郷里の風景に重ねたもので、（エドワード・サイードが使った）dispossessedという言葉で終わります。記憶の風景の尊さを強く感じます。

たとえば、こんなふうに勉強の合間にさまざまな本・雑誌、新聞を読んで一息ついてください。そしてリフレッシュしたら、また勉学に励んでください。



静岡本館 5階閲覧室から海を望む



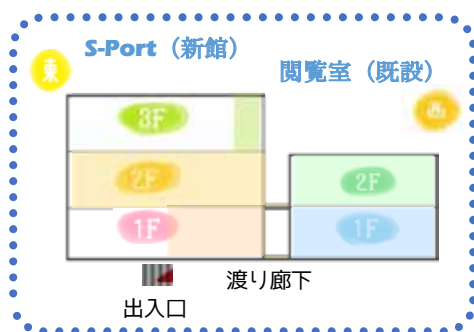
静岡本館 5階ハーベストルーム

浜松分館リニューアルオープン

浜松分館は、昨年の改築工事が終了し、平成 26 年 10 月 1 日にリニューアルオープンしました。新しい建物の名称は「附属図書館分館・学生支援棟」、愛称は「S-Port」です。

工事中は、埃や騒音、書庫資料が利用できないなどのご不便をおかけしました。

S-Port の 1 階には学生の皆様をサポートする事務機能を集約し、ワンストップサービスを図りました。**S-Port** の 1 階の一部と 2 階全部が図書館スペースです。「アクティブラーニングスペース」として、グループで学習できるよう整備しました。これからこの図書館エリアについてご紹介します。



S-Port 2 階 グループワークエリア

S-Port 2 階の「**グループワークエリア**」では、机とイスを自由に動かして利用できます。ホワイトボード・プロジェクターなどがあり、グループでの学習や協同作業、打合せに最適です。プレゼン資料作成、研究発表の場としてもご利用ください。時期によって、先輩に相談できる窓口『**チューターズフロント**』も開催されます。

ガラスで仕切られた「**セミナールーム・CALL 教室**」には、50 台のパソコンやプロジェクターが備えられ、授業や予約の無い時は自由に利用できます。

多様な文化を感じながら学習できる「**多文化交流エリア**」には、視聴覚機器や、発音練習のできる LL ブースがあります。語学の学習や留学生との交流の場にご利用ください。

地域産業や大学の研究成果等を情報発信する「**地域産業史エリア**」もあり、地域の企業との新たなつながりの場になります。

1 階には「**ギャラリー**」があります。学生・教職員の皆さま、活動成果や研究成果を展示・公開してみませんか。1 階の「**ラウンジ**」には自販機もあり、ここでは、飲食も可能です。

書庫も新しくなりました。蔵書検索で「**書庫**」と表示されたら、カウンタへ。平日 9 時～17 時までの利用になります。学部生も直接入庫してご利用できます。



S-Port 1 階 ギャラリー

従来の**閲覧室**(旧館部分)は、**S-Port** とは違い、静かに学習する場所です。他の利用者の迷惑とならないよう、私語は謹んでください。図書や雑誌など多くの資料がこちらに配架されています。閲覧室 1 階の PC ワークエリアや 2 階のプレゼンルームでは、パソコン、シンククライアントを設置、情報収集やレポート作成などにご利用になれます。また、**S-Port** も含め、全館無線 LAN が利用できます。

図書館の中にお気に入りの席を見つけてみませんか。是非ご来館を!!

【図書館ギャラリー企画展報告】

【静岡本館ギャラリー】

	開催期間	企画展名	主催
第1回	2014年 4/10～4/28	美楽展Ⅱ ～iPhoneアプリで撮った素人の写真展～	教育学部美術 学生
第2回	5/9～5/28	あおを書く	教育学部書文化専攻 学生
第3回	6/5～6/19	わたしの芹沢銈介展～日々の暮らしのなかで～	授業「情報意匠論」内チーム
第4回	7/1～7/18	超美男展	教育学部美術 学生
第5回	10/2～10/23	NoTErious	教育学部美術 学生
第6回	10/27～10/31	静岡大学名誉教授長岡宏先生ご恵贈絵画展 「風景（渋谷駅前）」	附属図書館
第7回	11/26～12/10	Pocchari 展	教育学部美術 学生
第8回	12/11～12/19	フィールドワーク写真展 2014 in 用宗	人文社会科学部文化人類学コース
第9回	2015年 1/13～1/29	「幼児指導絵本 あそび」研究発表展	授業「情報意匠論」内チーム
第10回	2/3～2/10	ポスター展「静岡の教育」	授業「中等教育の総合研究」
第11回	2/16～3/13	詩文書をかく	教育学部書文化専攻 学生

【浜松分館ギャラリー】

平成26年10月にオープンしました「附属図書館分館・学生支援棟」、愛称「S-Port」(エスポート)は、人や物が行きかう「港」のように、新たな知識や人と出会う活気あふれる場所をめざしています。S-Portの浜松分館ギャラリーも、大学での研究成果や活動を公開・展示することで「知的交流の架け橋」となるべく新設されました。学生、教職員の皆様には、学習や研究の成果物の展示、作品の発表、その他の活動の報告会などにご活用いただくことができます。静大生だけでなく、市民の方にもアピールできる浜松分館ギャラリーを、ぜひ、ご活用ください。

	開催期間	企画展名	主催
第1回	2014年 10/1～11/9	浜松キャンパスの歴史をたどって、やらまいか 写真展+α	附属図書館浜松分館
第2回	12/26～ 2015年1/19	第2回ケミカルバイオロジーグループ研究報告	化学バイオ工学科バイオ応用 工学コース
第3回	1/26～2/20	第20回静岡大学技術報告会ポスター展示	技術部
第4回	3/23～ 4月下旬(予定)	静大浜松モデラーズクラブ模型コンテスト	静大浜松モデラーズクラブ

【「本が好きな子、集まれ！キッズチャレンジ静大図書館」実施報告】

静岡大学附属図書館では、今年度初めて、地域の小学 5, 6 年生の児童を対象に「本が好きな子、集まれ！キッズチャレンジ静大図書館」（平成 26 年度静岡大学地域連携応援プロジェクト）を、8 月 8 日、12 月 24 日に静岡本館、12 月 25 日に浜松分館で開催しました。

子どもたちは「キッズ探偵」として、グループに分かれ、学生演じる「情報屋」のサポートを受けながら、「図書館探検」、「お仕事体験」、「謎解きラリー」の各ステージを体験しました。

参加した子どもたちからは、「書庫に入れた事に感激！とってもとっても特別な 1 日になりました」や「本に付いているラベルの意味を知ることが出来て良かった」等、大学図書館での活動を楽しむ声が多く寄せられました。



図書館体験

お仕事体験



謎解きラリー



認定式



【図書館利用学生モニター活動報告】

図書館利用学生モニター（以下「モニター」といいます。）による、平成 26 年度における活動状況について、ご紹介いたします。

モニター選書と企画展示

静岡では戸田書店本店と MARUZEN&ジュンク堂書店新静岡店、浜松では谷島屋浜松本店にモニターが出かけて学生用図書を選書しました。選書後は推薦の言葉を添えて展示しています。



テクノフェスタ in 浜松

テクノフェスタ in 浜松にあわせて「しおり作りのワークショップ」を開催しました。



モニター会議

館長、分館長が主催する会議です。モニターから館長等に図書館サービス等の意見、要望を伝えました。モニターのあり方や新しくオープンした浜松の S-Port が話題に上がりました。



緑のカーテンと「笹飾り」

浜松分館では夏場のエコ対策として、ウッドデッキに緑のカーテンを設置しました。また、7月には入館ゲート横に七夕祭りの飾り付けを行いました。



～教員等著作寄贈図書一覧～

このリストは、本学教職員等により著作(等)され、図書館にご恵贈していただいた図書を一覧にしたものです。(各館五十音順) (平成 27 年 2 月 28 日現在)

●本館受入

◇荒川紘 (名誉教授)

- ・原発に抗して：一科学史教師の闘い [唯学房]
〈著者〉静・開架 【539/A63】

◇大野旭 (人文社会科学部)

- ・ジェノサイドと文化大革命：内モンゴルの民族問題
[勉誠出版] 〈著者〉静・開架 【222. 6/Y72】
- ・チベットに舞う日本刀：モンゴル騎兵の現代史
[文藝春秋] 〈著者〉静・開架 【222. 6/Y72】

◇小和田哲男 (名誉教授)

- ・黒田官兵衛：智謀の戦国軍師 [平凡社] 〈著者〉
静・開架 【081/H51/S703】
- ・黒田官兵衛：豊臣秀吉の天下取りを支えた軍師
[宮帯出版社] 〈監修〉静・開架 【289. 1/KU72】
- ・戦国ウォーク長篠・設楽原の戦い [黎明書房]
〈監修〉静・開架 【210. 48/K012】
- ・戦国史を歩んだ道 [ミネルヴァ書房] 〈著者〉
静・開架 【289. 1/093】
- ・戦国大名と読書 [柏書房] 〈著者〉
静・開架 【210. 47/093】

◇久木田直江 (人文社会科学部)

- ・医療と身体の図像学：宗教とジェンダーで読み解く
西洋中世医学の文化史 [知泉書館] 〈著者〉
静・開架 【490. 23/KU28】

◇久島茂 (名誉教授)

- ・「物」と「場所」の対立：知覚語彙の意味体系 [くろ
しお出版] 〈著者〉静・開架 【815. 4/KU87】

◇小仁田誠二 (人文社会科学部)

- ・深蒸し茶のルーツ [静岡大学人文社会学部小二田研究
室] 〈監修〉静・開架 【617. 4/SH94】

◇里村幹夫 (名誉教授)

- ・地震防災 増補改訂版 [学術図書出版社] 〈編者〉
静・書庫 【369. 31/SA87】

◇澤田治美 (元教員)

- ・現代意味解釈講義 [開拓社] 〈著者〉
静・開架 【837. 5/SA93】

◇土屋麻人 (理学研究科)

- ・弦理論と行列模型：弦理論の非摂動的定式化と新しい
時空と物質の捉え方 [サイエンス社] 〈著者〉
静・書庫 【408/SU76/104】

◇富田涼都 (農学研究科)

- ・自然再生の環境倫理：復元から再生へ [昭和堂]
〈著者〉静・開架 【519/T058】

◇長岡宏 (名誉教授)

- ・旅：アーティストが表現する旅 [ARTBOX インター
ナショナル] 〈PAINTING〉静・開架 【708/A79/2】

◇中本義彦 (人文社会科学部)

- ・戦争と政治の間：ハンナ・アーレントの国際関係思
想 [岩波書店] 〈訳者〉静・書庫 【311. 234/093】

◇袴田光康 (人文社会科学部)

- ・源氏物語注釈史の世界 [青簡舎] 〈執筆〉
静・開架 【913. 364/H61】

◇服部義弘 (名誉教授)

- ・音韻論 [朝倉書店] 〈監修〉静・開架 【801. 09/A85】

◇飛騨健一 (教育学部)

- ・カブの絵本 [農山漁村文化協会] 〈編者〉
静・開架 【615. 08/S016】

◇藤井真生 (人文社会科学部)

- ・中世チェコ国家の誕生 [昭和堂] 〈著者〉
静・書庫 【234. 8/F57】

◇本多隆成 (名誉教授)

- ・近世の東海道 [清文堂出版] 〈著者〉
静・開架 【682. 15/H84】

◇松田純 (人文社会科学部)

- ・こんなときどうする?在宅医療と介護 [南山堂]
〈編者〉静・開架 【498/K075】

◇間庭充幸 (名誉教授)

- ・犯罪と日本社会の病理：破壊と生の深層社会学 [朱
鷺書房] 〈著者〉静・開架 【368. 6/MA44】

◇安永愛 (人文社会科学部)

- ・家族手帳 [水声社] 〈訳者〉静・開架 【953/M013】

◇吉田寛 (情報学研究科)

- ・ウィトゲンシュタインの「はしご」：『論考』にお
ける「像の理論」と「生の問題」 [ナカニシヤ出版] 〈
著者〉静・開架 【134. 9/Y86】

●分館受入

◇イノベーション社会連携推進機構

- ・世界文化遺産富士山を考える [静岡大学イノベー
ション社会連携推進機構] 〈編者〉
浜・開架 【291. 54/SH94】
- ・災害を知り、防災を考える (静岡大学公開講座ブッ
クレット 8) [静岡大学イノベーション社会連携推
進機構] 〈編集〉浜・開架 【081/SH94/8】

◇岡田泰平（情報学研究科）

- ・「恩恵の論理」と植民地：アメリカ植民地期フィリピンの教育とその遺制 [法政大学出版局] <著者>
浜・開架【372.248/038】

◇大野旭（人文社会科学部）

- ・被害者報告書 2（モンゴル人ジェノサイドに関する基礎資料 6） [風響社] <編集>
浜・開架【312.227/Y72/6】

◇小和田哲男（名誉教授）

- ・黒田如水：臣下百姓の罰恐るべし [ミネルヴァ書房] <著者> 浜・開架【289.1/KY720】

◇川井秀記（工学研究科）

- ・光化学：基礎から応用まで [講談社] <共著>
浜・開架【431.5/N15】

◇里村幹夫（名誉教授）

- ・地震防災 増補改訂版 [学術図書出版社] <編集>
浜・開架【369.31/SA87】

◇竹林洋一（情報学研究科）

- ・Acoustics, speech and human-machine communication : Festschrift Dedicated to Professor Ken'iti Kido on the occasion of his 88th Birthday [Aososha] <執筆>
浜・開架【501.24/KI13A】

◇館岡康雄（工学研究科）

- ・シナジー社会論：他者とともに生きる [東京大学出版会] <共著> 浜・開架【361.3/I41】

◇土屋麻人（理学研究科）

- ・弦理論と行列模型：弦理論の非摂動的定式化と新しい時空と物質の捉え方（臨時別冊・数理学・SGCライブラリ 104） [サイエンス社] <著者>
浜・開架【A/SU76/104】

◇戸田美津夫（工学研究科）

- ・浜松型次世代交通システムの提案：誰もが容易に安全に移動できる都市をめざして：運輸連合による西遠広域都市圏の公共交通の一体化とシームレス化 [都市交通デザイン研究会] <編集>
浜・開架【518.84/T072】

◇富田涼都（農学研究科）

- ・自然再生の環境倫理：復元から再生へ [昭和堂] <著者> 浜・開架【519/T058】

◇原澤伊都夫（国際交流センター）

- ・多文化共生のための異文化コミュニケーション [明石書店] <著者> 浜・開架【361.45/H32】

○審議事項

1. 平成 26 年度第 1 回議事要録について
2. 平成 25 年度附属図書館経費決算について
3. 平成 26 年度附属図書館経費予算について
4. 平成 26 年度学生用図書購入費の配分について
5. 図書の不用決定について
6. 改築後の浜松分館における防犯カメラの設置について
7. 学生用図書費の電子リソース経費への補填について

○報告事項

1. 電子リソース見直しのためのアンケート集計結果概要について
2. 「平成 27 年度に向けた電子リソースの購入に関する報告書」の教育研究評議会における審議内容について
3. 平成 28 年度以降の教育研究組織等整備計画について
4. 附属図書館利用状況について
5. 平成 26 年度図書館利用セミナーの実施について
6. 研究室貸出図書の点検について
7. 平成 26 年度地域連携応援プロジェクトについて
8. 浜松分館改築工事の現況について
9. 附属図書館分館・学生支援棟オープンングセレモニーの開催及びギャラリーの展示テーマについて
10. 浜松分館整備特定基金の寄附状況について

・平成 26 年度第 4 回附属図書館委員会

<平成 26 年 12 月 10 日（水）>

○審議事項

1. 前回議事要旨について
2. 附属図書館の使命について
3. 附属図書館における防犯カメラの運用について
4. 大学教育センターと附属図書館との連携協力に関する申し合わせについて
5. 図書の不用決定について
6. 浜松分館における貸出冊数等の変更（試行）について

○報告事項

1. 静岡大学電子リソース検討委員会の設置等について
2. 附属図書館分館・学生支援棟のオープンについて
3. 博士論文のインターネット公開義務化について
4. 静岡大学学術リポジトリの一部登録論文の DOI 付与について
5. 平成 26 年度地域連携応援プロジェクト（キッズプロジェクト）について
6. 平成 26 年度図書館利用セミナー等の年間実施報告について
7. 静岡本館における盗難と防犯カメラの増設について
8. 浜松分館整備特定基金の寄附状況について

◆人事異動

平成 26 年 3 月 31 日付

溝口浩和 [学術情報部長→退職（文部科学省）]

次良丸章 [図書館情報課長→退職（名古屋大学）]

平成 26 年 4 月 1 日付

東 雅彦 [金沢大学情報部長→学術情報部長]

鈴木雅子 [旭川医科大学図書館情報課長→図書館情報課長]

平成 26 年 7 月 14 日付

中込 崇 [学長室調査連絡係員→分館資料係員]

〽 図書館の動き 〽

・平成 26 年度第 3 回附属図書館委員会

<平成 26 年 7 月 23 日（水）>

図書館開館日程〔2015年4月～2015年9月〕

	9:00～22:00		10:00～17:00
	10:00～19:00		9:00～17:00
	9:00～21:00		休館日

静岡本館

※開館日・開館時間は変更することがあります。臨時に休館する場合は、別途お知らせします。

2015年4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

浜松分館

※開館日・開館時間は変更することがあります。臨時に休館する場合は、別途お知らせします。

2015年4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

静岡大学附属図書館報「図書館通信」第167号（平成27年3月18日発行）

発行所 静岡大学附属図書館 URL <http://www.lib.shizuoka.ac.jp>

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL.054-238-4473 Fax.054-238-5408（再生紙使用）

